

(様式1)

自己評価票

作成日 平成26年 9月 15日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873900724		
法人名	有限会社 万葉		
事業所名	愛の家グループホーム 石岡下青柳 ゆうもあ館	ユニット名	なでしこ
所在地	〒315-0153 茨城県石岡市下青柳948-2		
自己評価作成日	平成 26年 9月 15日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価機関 決済日	平成 年 月 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

自然が溢れる豊かな環境の中、家庭にいるような雰囲気の中での生活を提供しています。ホームの敷地内にある畑では野菜を栽培しており、取れたての野菜を食べる事が出来ます。近隣施設への外出やドライブ等、積極的に行っています。食事は全て手作り季節に応じたメニューを作り、家庭の味を提供しています。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝申し送りの際、全員で唱和しています。また、事例研究でも取り上げました。職員会議の際も全員で唱和しています。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所から野菜の差し入れがあります。またボランティアの方々の来訪や八郷幼稚園の園児達との交流があります。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々より相談を受ける事があり、社会資源の紹介や介護保険について説明しています。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で、月々の取組み内容の説明やイベントへの参加を行っています。運営推進会議は2か月に1度開催しています。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者には、運営推進会議や行事に参加して頂き取組みを伝えていきます。電話や訪問等で連絡を取り、事業所の空き状況を伝え、サービスの取組みを相談しています。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会議や研修などで確認しています。夜間等は外部からの不法侵入防止の為、玄関の施錠を行っています。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議や研修などで確認しています。ホール内に掲示しています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要であると思われる入居者様、ご家族には説明を行っていますが、現在制度を利用している方はいません。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約については、十分時間を取り説明しています。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	夏祭りや来訪時の際に、日頃の取り組みや内容を説明させていただいております。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議では、各がスタッフが自由に質問できる時間を設けています。また会議外でも質問等あった場合には回答しています。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	ホーム長が、個別面接を行い職一人ひとりの努力や功績を評価している。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的に外部研修への参加、勉強会等を行っています。日常の業務の中でも、不明な点などは先輩職員に聞きやすい環境を作っています。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域密着型連絡協議会へ参加しています。各種研修や交流会へ参加しています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初めてお会いする方はもちろん、生活の中で本人と話をしよう心がけています。見学は随時受付しており、体験入居も行ってあります。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の方には、入居者様の近況を面会・電話・文書にて伝達しています。ご家族や本人の不安をお聞きし、安心した生活環境が提供できるよう努めています。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まずは、ご家族、本人と直接お話しさせていただいています。情報をスタッフに伝え、統一したケアが出来るよう努めています。事前に身体状態の把握に努め、その他本人、ご家族が望むものに対応できるよう協力しています。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	それぞれが生活の中で活躍できる場の提供をしています。例えばフロアの清掃、食器の下膳などスタッフと一緒にこなしていただいています。互いに信頼しあえる生活環境を目指しています。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事にはご家族をお招きし、本人と一緒に楽しんでいただいています。面会に来られた際は、なるべく家族だけの時間を過ごして頂くようにしています。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	天候にもよりますが、外出の機会を作るようにしています。水族館や近隣の公園などに外出しています。また、面会に関してはご家族だけでなく、これまでの本人との関係性の維持に努めています。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	余暇活動はなるべく全員で行っています。また、その場で言えなようなことは、時間を見つけスタッフが本人と話をしています。集団生活に慣れない方や、その日の気分が優れない方などが孤立しない様、声掛けや巡視などを行っております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	転居の際は、ホームでの生活の様子を文書にて伝えております。転居後も連絡があった場合は対応をしています。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人と話をし、思いを聞くようにしています。その為、個々と話す時間を設けるよう業務との両立をしています。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、ご家族と話をし、生活歴の把握に努めています。ご家族が来訪された際は、ホームでの生活状況を伝え、ご家族の意見を参考にケアの見直しを行っています。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活のリズムを見極め、日常の生活の変化があれば見守りを強化し、状況に応じ居室にて対応しています。本人の生活リズムに変化があった場合は申し送りの際に情報を伝達・共有しています。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアに対し、スタッフそれぞれの思いをまずは実践してみることから始めています。その中で本人がよりよい環境で生活できるケアを見つけ統一しています。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日勤リーダーが主体になり、バイタルの変化、食事量、排泄リズムの変化を見極め、他のスタッフに伝え共有しています。変化などあれば会議で議題に挙げ、ケアの見直しをしています。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出の支援・敷地内での菜園など本人がホームの生活をより楽しめるよう支援しています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアの方をお招きし、朗読や体操等一緒に行なっていただいています。八郷幼稚園の園児達との交流があります。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は基本的に本人の希望に添って決定しています。週1回協力医療機関の往診と訪問看護があり、入居者の健康管理を支援しています。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護の際は、医師に各利用者の状況を説明をしています。その他も、体調不良の際は医師に相談し、内服薬等の指示を仰いでいます。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院患者が出た場合に備え、医療機関への連携をお願いしています。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	出来る限り食事は口から食べられるよう支援しています。入浴は曜日を決め人数をかけて行っています。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に研修を行っています。応急マニュアルをスタッフが確認できるようにしています。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に防災訓練を行っています。災害時は全員で対応できるよう連絡網を作成しています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	生活の中で得た個人情報厳守しています。また、個々に合わせた話し方をしています。排泄時や入浴時は本人の羞恥心へ配慮した声掛けを行っています。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者とのコミュニケーションを重視し信頼関係の構築に努めています。自己決定しやすい体制づくりを考えています。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の出来ることを支援し、共に行っています。生活のリズムの維持を大切にするため、食事の提供時間は統一していますが、召し上がられるペースが有るため、それぞれに合わせたケアをしています。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご家族の用意されたものの中から、スタッフ、又は本人に選んでいただいています。衣類は毎日洗濯をし、続けて同じ衣類にならないようにしています。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は手作りで家庭に近い味を提供しています。また季節に合わせたメニューを提供しています。下膳などはお手伝いをお願いする場合もあり、共に行える環境を作っています。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量が少ない方についてはエンシュア等で対応しています。毎食時、おやつ時間は水分を提供し、一日の合計の水分量を記録しています。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っています。義歯は毎日夕食後に洗浄を行っています。希望により歯科受診を行っています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間でのトイレ誘導、声掛けを行っています。日勤リーダーが排泄チェックをし、出来る限り、失禁なくトイレ誘導が出来るよう努めています。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェックを行っています。排尿、排便が、出ない時間が続く場合は主治医に指示を仰いでいます。現在では、寒天を取り入れ自然排便が促せるようなケアを行っている入居者もいらっしゃいます。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴時間内で本人の体調や都合に合わせて入浴を行っています。基本的に男性は月、水、金、女性は火、木、土を入浴日としています。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活のリズムを維持するため、日中は主にホールにて過ごして頂いています。夜間の巡視時なるべく物音を立てないようにしています。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診時、医師より説明を受け、スタッフは申し送りや口頭で確認しています。個別ファイルに服薬情報があり、CWが確認できるようになっています。それぞれの時間での服薬介助を行うCW
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食後の下膳やホール清掃など、出来るようなことは一緒に行なっています。毎日レクリエーションの時間などを設け、日曜日はカラオケを行っています。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候にもよりますが、スタッフの人員が多い場合、近隣への施設の外出やドライブを行っています。花見や紅葉狩りなど、その季節に合った外出が出来るよう支援しています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	本人やご家族の希望に添い所持できるよう支援いたします。
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	本人宛の手紙は直接本人に手渡ししています。ご家族様とお話しさせていただき、拒否が無い場合は知人やご親戚からの電話はお繋ぎしています。
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	毎日時間を決め清掃を行っています。ホールでは室温、湿度をチェックし、空調管理をしています。各利用者が過ごしやすいうように配慮しています。
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	花を飾ったり、テーブルやソファを置き空間を作っています。一人一人の座席と、利用者同士が話し合えるソファに分かれています。
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	ベッドと布団を使い分けており、畳の居室もあります。居室担当を決め環境整備を行っています。
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	天気の良い日は散歩をしたり、中庭にて余暇活動をしています。菜園なども一緒に楽しんでいただき、取れたての野菜を提供しています。

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない